

9年ぶりに売上高新記録

今後の経済成長が期待されます。
3/20/15
ハワイ報知

商業不動産市場がブーム

20日に商業不動産会社、コリアーズ・インター・シヨナルが発表した報告で、ハワイの商業不動産市場が昨年は回復から本格的なブームに発展したことが明らかになった。

コリアーズの報告は、昨年は機関投資家（企業体）らが高級ホテル数軒と1等級のショッピングモールを買収したことなど、主要商業不動産価値の最高記録が9年ぶりに更新されたとしている。昨年はハワイ州内で、前年の37億ドルを約25%上回る、総額46億ドル相当の商業不動産が買収された。これまでの最高記録は05年の43億ドル。州内の商業不動産は、金融市場の崩壊とともに景気後退が始まった。09年に6億3000万ド

ルに下降したあと、12年以降は回復を続けている。コリアーズは、観光業界が記録破りの業績をあげたことや、住宅価格の伸びなどに寄与したと解説している。

報告の対象となつてるのは、価格が100万ドルを超える小売、リゾート、産業、オフィス、複合住宅、土地の各物件。買収額の最高はワイキキのロイヤル・ハワイアンセンターで、価格は6億9800万ドル。ズ財団は、センターをJ&Cモーラン・チエイス＆カンパニーに売却したが、敷地は依然として所

止まらない再開発プロジェクト。更なるホテルコンドミニアムの完成が注目されます 3/14/15
日刊サン

2億2700万ドル、ハワイカイ・タウンセンターが1億1000万ドルで、それぞれ売却された。商業不動産では、リゾート不動産部門の売上が17億ドルで最高を記録し、小売部門も14億ドルと健闘した。

リゾート不動産では、ワイレア・マリオットとゴルフ場が3億2600万ドル、プリンスヴィル・リゾート近くの未開発の土地が3億4000万ドルで売却されている。

リゾート地区のワイルアノマケナでは一戸建て住宅2戸が販売され、中間価格は120万ドル、

万7000ドルに、コンドミニアムは昨年の44万1000ドルより14%低下して37万8000ドルとなつた。リゾート地区のワイルアノマケナでは一戸建て住宅2戸が販売され、中間価格は120万ドル、

中間価格が低下 マウイの1月の住宅販売

マウイの1月の住宅販売は高額の物件が少なかつたため、中間価格が低下したことが、マウイ・不動産協会の発表で明らかになった。

一戸建て、コンド共に中間価格は昨年同月の69万5000ドルから17%低下して57万5000ドルに、コンドミニアムの場合は40万5698ドル。

コンドミニアムの場合も同様で、高級コンドよりも低価格の物件が多く販売されたため、中間価格が昨年より下がった。

ラナイ島では昨年2ユニットが販売され、中間価格は170万ドルだったのに対し、今年の販売はゼロ。

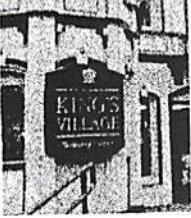
モロカイ島では今年販売された4ユニットの中間価格が6万4500ドル、昨年は1ユニットだけ、22万2500ドルで売却されている。

マウイ不動産協会の統計には新築と中古の両方

が含まれている。

マウイ住宅販売状況

	販売戸数	中間価格
一戸建て住宅	75	\$577000
2015年1月	65	\$695000
2014年1月		- 17.0%
前年比	15.4%	
コンドミニアム	83	\$378000
2015年1月	94	\$441000
2014年1月		- 11.7%
前年比	- 14.3%	



アラモアナセンターの開発を手掛けている、ブラックサンドキャピタルーコバヤシグループ・マックノートングループのパートナーシップグループはキングスピレッジ一帯に建てられるホテルコンドミニアム建設計画を発表した。

火曜日に行われた近隣コミュニティへの説明によると、このプロジェクトは33階建て250戸の戸数を擁するコンドミニアムタワーとする計画。現在の計画ではタワーの高さについてワイキキ特別地区ルールに抵触しており、さらに住民の反対もあり、計画の修正を迫られそうだ。一方で、開発業者は規定を超える補償として100万ドル以上の寄付金をワイキキコミュニティの治安・快適性向上のために提供することに表明している。

反対もあり、計画の修正を迫られそうだ。一方で、開発業者は規定を超える補償として100万ドル以上の寄付金をワイキキコミュニティの治安・快適性向上のために提供することに表明している。

